

環境緑化科 3 年課題研究、生態調査班

【研究テーマ】

園芸高校内における生態調査

【研究内容】

①陸生昆虫班と②水生班に分かれて調査を行った。

【研究目的】

保全すべき重要な生態系が成立している地域について現地調査等による生態系の構成要素およびその構造を総合的に把握し、生物多様性の保全上重要な地域の保全指針を作成するうえで重要な基礎資料を得ることを目的とする。

【調査】

①陸生昆虫班は令和 5 年 9 月～令和 6 年 1 ～ 2 月の間、捕獲場所や日時のデータ収集を行った。同時に写真も記録として残した。

②水生班は令和 6 年 4 月～ 1 ～ 2 月の間、捕獲場所や日時のデータ収集、写真でも記録を残した。



【結果】

①調査期間中に合計約 160 種の昆虫を捕獲することができた。

2024 年は、9 月の最高平均気温が過去最高であったため初秋まで夏の昆虫がみられた。9 月 28 日にクマゼミの鳴く声が聞こえた。

②調査期間中に合計 21 種の生物を捕獲・確認することができた。

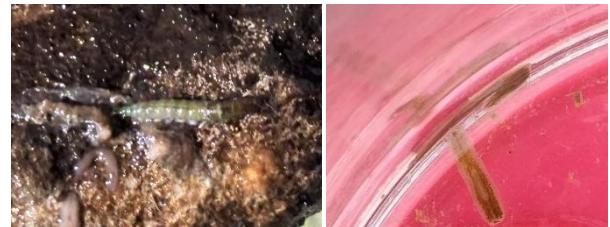


【考察】

①1 年 4 か月の間に、多くの種類の昆虫を見ることができた。園芸高校の周辺は住宅地になっているが、校内では生態系ができており、巨大なビオトープ空間ができるていると考えられる。



②園芸高校周辺には見られないような生物がいた。本来は猪名川水系に生息しているが、見つかりにくいためであり、至る所にいるのかもしれない。



【今後の課題】

①分布図と発生時期の把握。希少種の保護。同定能力の高い人が必要である。調査期間が短いため継続して後輩に調査してもらう必要があるなど様々な課題が残る。

②調査方法を増やすことや調査期間を夏・秋へ集中するなどの変更が必要だと感じた。そして更に小さな生き物（アカムシ、ミジンコ）で、写真に撮れなかった生物も調査の工夫が必要を感じた。